

第4話
「あぶない」ものには、
近づかない!

私、今日から トラックドライバーに なります!



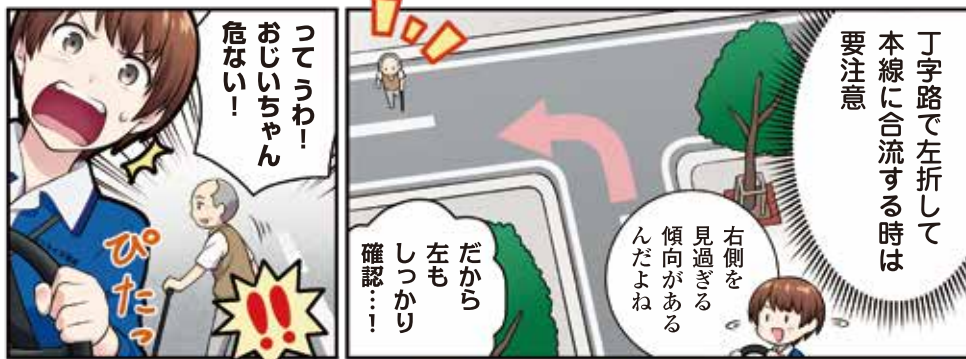
速水涼 (30)
後輩の綾瀬にプロドライバーの基本を
一から指導した速水。これからの活躍
に期待している。



山岡大輔 (40)
日々、安全の大切さを伝える運行管理
者の山岡。危険予知トレーニングの教
育にも力を入れる。



綾瀬小陽 (22)
研修期間を終え、いよいよひとり
立ち。安全運転を誓い、プロドライバー
としてデビューする。



次のページで「KY運転」を解説!

「あぶない」ものには、近づかない!

これらが「あぶない」車両?

- 無謀な割り込みや車線変更などを繰り返す
- 積載状態が不安定
- 携帯電話で通話や操作をしながらの運転
- ヘコミや追突跡など事故痕跡がある
- 洗車が十分でなく汚れが目立つ など



「あぶない」ものには「近づかない」!

KY運転の目的は「安全確保」&「商品を傷つけない」

道路上では、「歩行者や車両」が危険な動きをすることがあります。プロドライバーには「これらの危険を素早く「頭」で予測して「目」や体を動かして安全の確認・対処を瞬時にすることが求められます。安全のために実践するKY運転とは、「K」(危険)を「Y」(予測)して対処することに加えて、「K」(危険)に「Y」(ゆとり)を持つこともあります。KY運転で危険を予測し、交通事故を回避するだけでなく、積載商品にも損傷を与えず無事に目的地へ到着するまでがプロドライバーの仕事なのです。

「まさか」が「マジか…」にならないように!

道路上には油断してはならない坂がある。「上り坂」と「下り坂」そして「まさか」です。運転時は常に想定外のK(危険)をY(予測)しておき、「まさか」の事態に対応できるようにしましょう。決して自分自身が事故当事者になり、「マジか…」や「まさか」にならないように気を付けたいですね。

危険は「頭」で予測して、安全は「目」で確認を
K(危険) Y(予測)運転の取り組みは、「あぶない・きたない」と思う「こと」から始めましょう

「なぜここに設置されているの?」



「なぜ?」を
考えることで
危険の予測が
できますよ!

危険の中に潜む「あぶない」きたない

危険を予測し、交通事故や労災事故を防止するKY運転教育を進めていくためには、まずは「思う」ことから始めましょう。

「あぶない」「きたない」「思いこみ」「きたない」ものをきたない「思いこみ」「思いこみ」でできない「あぶない」運転をする車両に近づいてしまおうとあります。また車内外がきたない「車両でも気にせず乗務すること」で、運転中に足元へ落下した物を拾おうとして前方不注意になったり、フロントガラスの汚れにより視界が不十分であったり、降雨時に水たまりを避けずに走り、ハンドルを取られそうになるなど、安全の低下を招いてしまうのです。

しかしながら「思うレベル」は、個々が持つ「常識のレベル」によって差があります。教育を通じて「自身の感覚」・次に「全員の行動」のムラをなくして、いつでも誰もが「あぶない」きたない「思いこみ」を統一することが大切です。運転中、「あぶない」と思うことができれば「近づかない」という安全な判断や、「減速停止確認」といった安全な行動につながっていきます。



マンガ制作: ad-manga.com

高柳 勝二 (たかやなぎ かつし)
株式会社プロデューサー代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社プロデューサー設立。中小運送会社からの依頼が多い「提案型」研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい・眠くならない・わかりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度より国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。

| | |
|--|---|
| 危険の予測および回避 ならびに緊急時における 対処方法 | ドライバー職は、交通事故の加害者にも被害者にもなる可能性がきまとう職業です。周囲の危険を「頭」で予測して、安全を「目」で確認することを繰り返しましょう。「あぶない」ものを「あぶない」と思って近づかないことで、ドライバー職をより安全な仕事に近づけることができます。 |
|--|---|

国土交通省「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針-危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法-」より